

所在	霧島市隼人町住吉522-46	事業主体	株式会社国分隼人衛生公社
問い合わせ先	TEL:0995-42-1304	見学	可能
施設名	天降川リサイクルセンター植物性廃食用油リサイクル装置	運転開始年	平成13年6月
出資比率	—	原料	廃食用油
利用法	主として自社所有収集車等の軽油代替燃料(100%)として利用	原料調達費	霧島市および始良町が資源ごみとして収集

システムフロー
(フロー図)



システムフロー
(施設全景)

精製プラント全景



回収廃食用油



給油施設(右がBDF、左が軽油)

施設仕様	1バッチ200ℓ、1日4バッチ処理可能(800ℓ/日):廃食用油投入タンク、分離タンク、ME・X・チェンジャー、グリセリン分離タンク、精製タンク、NERO タンク(1800ℓ)、給油機
運転状況	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回あるいは2回ゴミステーションにてポリ容器(20ℓ)にて収集される。 ・年間処理量40トン、約80日稼働(週1、2回)(約9割がBDFとなる) ・霧島市との委託契約に基づいて、ゴミ収集の1品目として廃食用油があり、収集運搬・中間処理の業務の一環として、廃食用油をBDF燃料化している。グリセリンは近隣のゴミ焼却施設で助燃剤として利用されている。
コスト (イニシャルコスト)	25,000千円
コスト (ランニングコスト)	—
効果	BDFは霧島市の所有物であり、(パッカー車など)社用車用の燃料として、軽油と同等の価格で市から購入している。社用車の4分の1程度の燃料に利用されている。
施設運営上の課題	最新のディーゼルエンジンで100%BDFは利用できないので、自動車燃料以外での、バーナーなどの用途の開発により需要先を増やしたい。